

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。本年は統一地方選挙の年です。新年早々から各種の地方選挙が実施されます。皆さまにおかれましては、一有権者として賢明なご選択をいただきたいと思います。

さて本市は、2年前に市制60年を迎え、還暦にふさわしい新たな一歩を踏み出すべく、その準備を進めてまいりました。長年の懸案であるJR安城駅南の更生病院跡地には、図書館を核とした複合施設を建設することとし、平成29年度の開館を目指し、今年度中の着工を予定しております。周辺エリアでの「南吉まちづくり」と併せて、空洞化しつつある市街地の活力再生を実現し、その後は他の駅周辺のまちづくりへの展開も考えてまいります。

また、本市は全国的にも稀な「健全財政」の都市です。こうした優位性を活かして、本市ならではの施策を展開し、皆さんが健やかで幸せに暮らせる「健康都市」の実現を目指し、安城市民であることを誇りとしていただけるような市政運営に邁進すべく、決意を新たにしております。

本年は、明治用水の立案者である都築弥厚の生誕250年に当たります。現在、明治用水は農業用水だけでなく、工業用水や防火用水にも利用され、さらに環境や生態系の保全など多様な役割を果たす「地域の水」となっています。本市が「日本デンマーク」から「産業都市」へと大きく変貌し、発展できたのも都築弥厚のおかげです。そこで本年は、明治用水の開削に尽力された先人の方々へ、感謝の気持ちを込めた記念事業を予定しております。

私たち地域の歴史と先人のご苦労に思いを馳せ、皆さんと共に新たな一歩を踏み出せる、そんな実り多き年となりますことを願っています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



安城市長 神谷 学

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、清々しく新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。年頭に当たり、市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、大雨による土砂災害や御嶽山の噴火など多くの犠牲者が出た天災が連続して起こり、自然災害の恐ろしさを見せつけられました。

一方、10月には青色LEDの発明により、3人の日本人がノーベル物理学賞を受賞するという、明るい話題もありました。困難に屈せず強い信念で研究を続けられた先生方に、敬意を表したいと思います。

さて、市議会においては昨年度も、議会改革に積極的に取り組み、本年4月の市議会議員選挙から議員数を2人減らし28人とする議員定数の削減や、議員提出議案による快適で安全な生活環境を形成することを目的とした「安城市さわやかマナーまちづくり条例」および、市民に開かれた信頼される議会を推進するための「安城市議会基本条例」と「議員政治倫理条例」を制定しました。

私たち議員一同、市民の代表として本市のさらなる発展に向け、決意も新たに、豊かで魅力あるまちづくりに全力を尽くしてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆さまにとって、実り多き年となりますことを心よりご祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



安城市議会議長 武田 文男